

# とかちの アイヌご



財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

## このテキストについて

当財団では、2010年度にアイヌ語千歳方言、美幌方言、幌別方言の教科書を作成しました。2011年度は、前年度に作成された教科書を踏襲しつつ改良を加え、静内方言、釧路・白糠方言、十勝方言の教科書を新たに作成しました。

### 編集方針

このテキストは、アイヌ語の基本的な表現を聞き、口にすることを通じて、アイヌ語に親しむことを目的に編集しました。文法解説にはあまり踏み込まず、1年を通しての暮らしの中で、子供たちが実際に使えるような表現を掲載してあります。4月から始まっていますが、各月が独立していますので、どの月からも始めることができます。教室では、あまり細かな解説はせず、例文を繰り返して聞き、発音することでフレーズを覚えてしまうことが最初の目標になります。例文を覚えた後は、練習問題に取り組むことによって応用ができるようになることを目指しましょう。

アイヌ語にはさまざまな方言があり、生活習慣も地域によって多少違います。そうした他地域の言葉・文化に関心をもち、自分の地域についてもよく知るきっかけとなるよう、必要に応じて他方言についても解説しています。

本文に加え、伝統的な歌や言葉遊び、よく知られた童謡のアイヌ語訳を掲載しています。副教材としてカルタも添え、さまざまな角度から、楽しみながら言葉を身につけられるようにしています。

### 例文と単語について

本書『とかちのアイヌ語』の本編の例文と単語は、中川郡本別町に在住された沢井トメノ氏(1906-2006)から、執筆者の一人である高橋がご教示いただいた内容に基づき構成されています。ただし、一部の例文については、このテキストの編集方針に合わせて、単語の組み合わせの変更をおこなっています。また、各ページで説明したい内容を盛り込むために、短く単純な言いまわしにしてあります。

### 音声について

アイヌ語の発音は日本語と異なっており、特に難しいところは、音声を聞きながら学習する必要があります。この本を教室等で利用するほか、家庭でも利用できるように、例文や単語、言葉あそび、歌などの音声を収録しました。収録に協力して下さったのは、普段は日本語で生活し、アイヌ語は学習によって身につけた方々です。一般に言葉を学ぶときには、もともとその言葉を使っている方から教

わるのがよいとされており、これはアイヌ語においても同じことがいえます。しかし、そうしたアイヌ語の発音に触れる機会が少ない中で、最初の手がかりになればという考えから、音声を用意しました。

### 文化的事項について

本書はアイヌ語の教科書ですが、アイヌ文化に関する解説をしたコラムを挿入してあります。これには三つの理由があります。アイヌ語話者の発話の中には、文化的な背景の説明を要する語彙が含まれていることがあります。また、本書を用いて学習する方の中には、かつての生活習慣について、あわせて学びたいという方も少なくないと考えられます。そして、言葉の学び方は一つではなく、言葉を文化的な文脈の中に位置づけて、時には体験もまじえて習得することが効果を生むことも考えられます。こうした理由から、アイヌ文化についての解説も取り入れることにしました。

この本を通じてアイヌ語に関心を持たれた方は、『初級編』や『中級編』に進んでみてください。さらに学習を進めたい方は、これまでに出版されたより専門的な解説書や視聴覚教材を参照されることをおすすめします。

この本を作る過程で多くの方にご指導を頂きました。記してお礼申し上げます。

### 【例文・単語】

しがせつこ しずないほうげん たかはしやすしげ とかちほうげん たむらまさし くしろ しらぬかほうげん  
志賀雪湖(静内方言)、高橋靖以(十勝方言)、田村雅史(釧路・白糠方言)

### 【練習問題・クロスワードパズル】

はちやまい  
八谷麻衣

### 【コラム・歌】

きたはらじろう た はちやまい  
北原次郎太、八谷麻衣

### 【本書イラスト】

おがさわら さよ しい な あん  
小笠原小夜、椎名庵

### 【音声収録(五十音順)】

かのう こ とよかわよう こ なかいたかのり はちやまい やまみち やまみちようまる  
加納ルミ子、豊川容子、中井貴規、八谷麻衣、山道ヒビキ、山道陽輪、

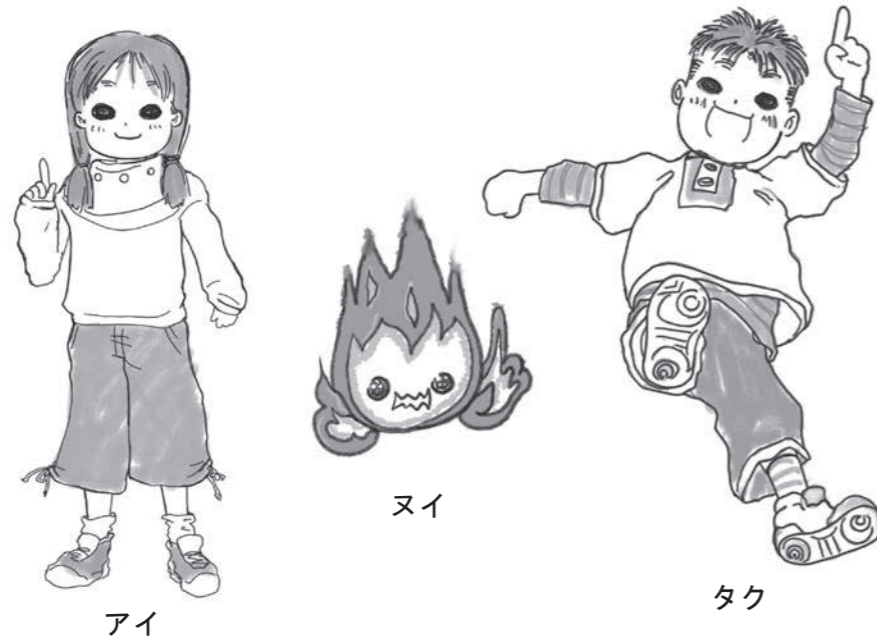
やまもと  
山本りえ

### 【副教材(カルタ)イラスト】

おがさわら さよ  
小笠原小夜

はじめに

こんにちは、アイです。ヌイです。タクです。



アイ：タク君、この本で一緒にアイヌ語を勉強しようね。

タク：勉強？ ぼく勉強は苦手だなあ。

ヌイ：でもタク君、アイヌ語に興味があるんでしょう？

タク：うん、どんな言葉なのか、ちょっとだけ知りたいなあと思っ。アイちゃんは？

アイ：私は、アイヌ語を話せるのってカッコイイかなって思うのと、アイヌ語で日記とか書いてみたい。「今日の晩ごはんはとってもおいしかったです。だけど、お手伝いをしなかったので、お母さんにしかられました、マル」とかね。

タク：へえ～。この本で勉強したら、アイヌ語で日記が書けるようになるの？

アイ：ううん、そうじゃないの。この本は、タク君みたいにちょっとだけ知りたい人向き。だから、あんまりむずかしい説明はなくて、アイヌ語をそのまま覚えて口に出してみましよう、ということをめざしているみたい。私は、この本が終わったら、次は『初級編』、『中級編』に進んでいくつもり。

タク：それならば、『初級編』までいくかどうか自信がないけど、まずはこの本を見ってみることにするよ。でも、他にもやりたいことがいろいろあるし、きっと1カ月に何回かしか使わないよ。

ヌイ：そのくらいでもいいんじゃない？この本は、最初から読んでいって、だんだんむずかしくなるっていうんじゃないかと、どこから読みはじめてもいいみたい。歌ものってるし。

タク：他のところは飛ばして、歌のところだけ見ようかな？

アイ：私は春から使い始めてほしい1カ月にひとつずつ読もうと思ってるの。今年のクリスマスには「ジングルベル」をアイヌ語で歌うつもり。一緒に歌う？

タク：じゃあ僕もアイちゃんと一緒にこれで勉強しよう。来年は、アイヌ語でアニメソングを歌いたいな。

目 次

4月 <sup>がつ</sup> みんなで遊ぼう <sup>あそ</sup> ..... 10

5月 <sup>がつ</sup> 楽しい山菜とり <sup>たの</sup> <sup>さんさい</sup> ..... 12

♪うたってみよう(1)～森のくまさん～♪ <sup>もり</sup> ..... 14

6月 <sup>がつ</sup> 走るのが速いね <sup>はし</sup> <sup>はや</sup> ..... 16

7月 <sup>がつ</sup> 海へ行こうよ <sup>うみ</sup> <sup>い</sup> ..... 18

♪うたってみよう(2)～かぞえうた～♪ ..... 20

♪8月 <sup>がつ</sup> 先祖を大切に <sup>せんぞ</sup> <sup>たいせつ</sup> ..... 22

9月 <sup>がつ</sup> おいしいものがいっぱい ..... 24

♪うたってみよう(3)～おびひろのおどりうた～♪ ..... 26

10月 <sup>がつ</sup> 冬が来る前に <sup>ふゆ</sup> <sup>く</sup> <sup>まえ</sup> ..... 28

11月 <sup>がつ</sup> 針と糸をもって <sup>はり</sup> <sup>いと</sup> ..... 30

♪うたってみよう(4)～ジングルベル・きよしこの夜～♪ <sup>よる</sup> ..... 32

12月 <sup>がつ</sup> 今日も寒いねえ <sup>きょう</sup> <sup>さむ</sup> ..... 34

1月 <sup>がつ</sup> お祭りの準備 <sup>まつ</sup> <sup>じゅんび</sup> ..... 36

♪うたってみよう(5)～からだのうた(しずかなこはん)～♪ <sup>からだのうた</sup> ..... 38

2月 <sup>がつ</sup> カムイに感謝をする <sup>かんしゃ</sup> ..... 40

3月 <sup>がつ</sup> 子グマを授かる <sup>こ</sup> <sup>さず</sup> ..... 42



アイヌ語(北海道方言)の音節(カタカナ表記)

アイヌ語(北海道方言)の音節(ローマ字表記)

【母音】

ア イ ウ エ オ

【子音+母音】

カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ
タ		トウ	テ	ト
チャ	チ	チュ／ツ	チェ	チヨ
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ
ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
パ	ピ	プ	ペ	ポ
マ	ミ	ム	メ	モ
ヤ	イ	ユ	イエ	ヨ
ラ	リ	ル	レ	ロ
ワ		ウ	ウエ	ウオ

【母音+子音】

アク	イク	ウク	エク	オク
アシ(アス)	イシ(イス)	ウシ(ウス)	エシ(エス)	オシ(オス)
アツ	イツ	ウツ	エツ	オツ
アン	イン	ウン	エン	オン
アブ	イブ	ウブ	エブ	オブ
アム	イム	ウム	エム	オム
アイ		ウイ	エイ	オイ
アラ(アル)	イリ(イル)	ウル	エレ(エル)	オロ(オル)
アウ			エウ	オウ

【子音(例としてカ行の音)+母音+子音】

カク	キク	クク	ケク	コク
カシ(カス)	キシ(キス)	クシ(クス)	ケシ(ケス)	コシ(コス)
カッ	キッ	クッ	ケッ	コッ
カン	キン	クン	ケン	コン
カブ	キブ	クブ	ケブ	コブ
カム	キム	クム	ケム	コム
カイ		クイ	ケイ	コイ
カラ(カル)	キリ(キル)	クル	ケレ(ケル)	コロ(コル)
カウ	キウ		ケウ	コウ

\* ( )で示した音節は、単語によって固定されていたり、実際の発音を聞くと、同じ単語でも二通りの発音が聞かれる音節です。

\* 例文の中で、前後の音によって発音に変化する場合、その発音を下線で示しました。

【母音】

a i u e o

【子音+母音】

ka	ki	ku	ke	ko
sa	si	su	se	so
ta		tu	te	to
ca	ci	cu	ce	co
na	ni	nu	ne	no
ha	hi	hu	he	ho
pa	pi	pu	pe	po
ma	mi	mu	me	mo
ya	yi	yu	ye	yo
ra	ri	ru	re	ro
wa		wu	we	wo

【母音+子音】

ak	ik	uk	ek	ok
as	is	us	es	os
at	it	ut	et	ot
an	in	un	en	on
ap	ip	up	ep	op
am	im	um	em	om
ay		uy	ey	oy
ar	ir	ur	er	or
aw	iw		ew	ow

【子音(例としてK)+母音+子音】

kak	kik	kuk	kek	kok
kas	kis	kus	kes	kos
kat	kit	kut	ket	kot
kan	kin	kun	ken	kon
kap	kip	kup	kep	kop
kam	kim	kum	kem	kom
kay		kuy	key	koy
kar	kir	kur	ker	kor
kaw	kiw		kew	kow

がつ 4月 みんなで遊ぶ 4月 みんなで遊ぶ

フクジュソウの花の咲く春は、新しい仲間や友だちに出会うことが多い季節です。  
 みんなでアイヌ語を勉強しましょう。

エハポ トウラノ エエカ ル ヘ?  
 e=hapo turano e=ek a ru he?  
 あなたの・お母さん とともに あなたが・来る した の か  
 「お母さんと一緒に来たの？」

エ。クハポ トウラノ クエク。  
 e. ku=hapo turano ku=ek.  
 はい 私の・お母さん とともに 私が・来る  
 「うん、お母さんと一緒に来たんだ」

エタク アイヌ イタク アリ ウポポアン ナ。  
 etak aynu itak ari upopo=an na.  
 さあ アイヌ 言葉 で 歌う・私たちが よ  
 「さあアイヌ語で歌いましょう（女性の場合）」

エタク アイヌ イタク アリ シノツチャキアン ナ。  
 etak aynu itak ari sinotcaki=an na.  
 さあ アイヌ 言葉 で 歌う・私たちが よ  
 「さあアイヌ語で歌いましょう（男性の場合）」

チライムン エプイ シピラサ。  
 ciraymun epuy sipirasa.  
 フクジュソウ つぼみ 咲く  
 「フクジュソウが咲いた」



おぼ 覚えよう～季節をあらわす言葉～

おぼ 覚えよう～季節をあらわす言葉～

パイカラ	paykar	はる 「春」
サク	sak	なつ 「夏」
ツク	cuk	あき 「秋」
マタ	mata	ふゆ 「冬」



れんしゅう 練習

クハポ トウラノ クエク。  
 ku=hapo turano ku=ek.  
 私の・お母さん とともに 私が・来る  
 「お母さんと一緒に来たんだ」

「私のお母さん」の部分<sup>わたし かあ</sup>を他の人<sup>ぶぶん ほか ひと</sup>に置き換えて<sup>お か</sup>言ってみ<sup>い</sup>ましょう。

クミチ ku=mici 「私のお父さん」  
 クコロ エカシ ku=kor ekasi 「私のおじいちゃん」  
 クコロ フチ ku=kor huci 「私のおばあちゃん」

れんしゅう 練習

ウポポアン ナ。 シノツチャキアン ナ。  
 upopo=an na. sinotcaki=an na.  
 歌う・私たちが よ 歌う・私たちが よ  
 「歌いましょう」



「歌う」の部分<sup>うた</sup>を他の言葉<sup>ぶぶん ほか</sup>に置き換えて<sup>お か</sup>「～しまし<sup>い</sup>ょう」と言<sup>い</sup>ってみ<sup>い</sup>ましょう。

シノツアン sinot=an 「私たちが遊ぶ」  
 オシッパン osippa=an 「私たちが帰る」  
 パイエアン paye=an 「私たちが行く」  
 イペアン ipe=an 「私たちが食事する」  
 オユッパン oyuppa=an 「私たちが走る」

がつ たの さんさい  
5月 楽しい山菜とり

おそ ゆき お やまやま すこ みどり さんさい しょくたく  
遅い雪どけが終わった山々に少しずつ緑がめばえてくると、やがて山菜が食卓をにぎ  
わす季節になります。アイヌ語を声に出しながら自然の恵みをいただきましょう。

キナカラアン クス パイエアン ナ。  
kinakar=an kus paye=an na.  
さんさい わたし さんさい しょくたく  
山菜をとる・私たちが ために 行く・私たちが よ  
「山菜とりに行きましょう」

エハ アタ ナ。  
eha a=ta na.  
ヤブマメ わたし わたし  
私たちが・揺る よ  
「ヤブマメを掘りましょう」

タネ クシンキ フマン。 クアツカシ コチャン。  
tane ku=sinki hum an. ku=apkas kocan.  
いま わたし つか かん ある わたし ある いや  
今 私たちが・疲れる 感じ ある 私が・歩く 嫌がる  
「疲れたなあ。もう歩きたくない」

マカヨ ポロンノ アン ナ。  
makayo poronno an na.  
フキノトウ たくさん ある よ  
「フキノトウがたくさんあるよ」



おほ 覚えよう～春の山菜～  
はる さんさい

プクサ	pukusa	「ギョウジャンニク」
プクサキナ	pukusakina	「ニリンソウ」
チマキナ	cimakina	「ウド」
コロコニ	korkoni	「フキ」

れんしゅう 練習

クアツカシ コチャン。  
ku=apkas kocan.  
わたし ある いや  
私が・歩く 嫌がる  
「歩きたくない」

わたし ある ぶぶん ほか ことば お か  
「私が歩く」の部分を他の言葉に置き換えて「～したくない」と言ってみましょう。

クモンライケ ku=monrayke わたし しごと  
「私が仕事をする」  
クイカスイ ku=ikasuy わたし てつだ  
「私が手伝いをする」  
クホユプ ku=hoyupu わたし ほん  
「私が走る」

れんしゅう 練習

マカヨ ポロンノ アン ナ。  
makayo poronno an na.  
フキノトウ たくさん ある よ  
「フキノトウがたくさんあるよ」

ぶぶん うえ ほか さんさい お か  
「フキノトウ」の部分を上にあげた他の山菜に置き換えて「～がたくさんある」と言ってみましょう



♪うたってみよう (1)～<sup>もり</sup>森のくまさん～♪

♪ シネアントタ ニタイ トウムタ キムンカムイ クヌカラ  
 sine an to ta nitay tum ta kimunkamuy ku=nukar  
 あるひ もりのなか くまさんに であった

♪ ルサム タノンノ ヘチラシパ キムンカムイ クヌカラ  
 ru sam ta nonno heciraspa kimunkamuy ku=nukar  
 はなさくもりのみち くまさんにであった

♪ キムンカムイ エネイタキ ポン メノコ ホクレ キラ  
 kimunkamuy ene itak hi pon menoko hokure kira  
 くまさんは こういった おじょうさん さあにげて

♪ すたこらさっさっさのさ すたこらさっさっさのさ

♪ ネコロカイ キムンカムイ エノシ ホユプワエク  
 ne korkay kimunkamuy en=os hoyupu wa ek  
 ところが くまさんが あとから ついてくる

♪ トコトコ トッコトッコト トコトコ トッコトッコト



♪ ポン メノコ エネチウカ ネプカイ エハチレ  
 pon menoko en=eciwka nep kay e=hacire  
 おじょうさん おまちなさい なにか おとしたよ

♪ レタラセイ アネカラ ポンポン キサルンペ  
 retar sey an=ekar pon pon kisarunpe  
 しろいかいで つくった ちいさな イヤリング

♪ キムンカムイ イヤイライケレ ウトウラノ リムセアンノ  
 kimunkamuy iyayraykere uturano rimse=an no  
 くまさん ありがとう いっしょに おどりましょう

♪ ラララ ラララララ ラララ ラララララ

\* ♪ある～ひ、もりのなか～で始まる「森のくまさん」に、アイヌ語をつけてみました。  
 \* アイヌ語の歌詞は、もとの歌詞の直訳ではありません。  
 \* 歌詞に使われているアイヌ語は、**浦河地方の言葉**が中心となっています。  
 (アイヌ語訳:平成22年度イオル事業・アイヌ文化伝承者育成事業 講師・受講者の皆さん)



6月 走るのが速いね

運動会のシーズンです。かけっこ、玉入れ、つな引き。

がんばっている友だちをおうえんしましょう。

エホユプ シリ トウナシ。  
e=hoyupu sir tunas.

あなたが走る様子 速い

「君は走るのが速いね」

タマ アピシキ ナ。  
tama a=piski na.

玉 私たちが数える よ

「玉を数えましょう」

ウエカラパ ヤン。  
uekarpa yan.

集まる なさい

「集まれえ」

アリキキ ヤン。  
arikiki yan.

がんばる なさい

「がんばれえ」



覚えよう～色をあらわす言葉～

レタラ	retar	「白 (い)」
クンネ	kunne	「黒 (い)」
フレ	hure	「赤 (い)」

練習

アイヌ語で10までの数の数え方を覚えましょう。

物を数える言い方			人を数える言い方		
1個	シネプ	sinep	1人	シネン	sinen
2個	トウプ	tup	2人	トウン	tun
3個	レプ	rep	3人	レン	ren
4個	イネプ	inep	4人	イネン	inen
5個	アシクネプ	asiknep	5人	アシクネン	asiknen
6個	イワンペ	iwanpe	6人	イワニウ	iwaniw
7個	アヲワンペ	arwanpe	7人	アヲワニウ	arwaniw
8個	トウペサンペ	tupesampe	8人	トウペサニウ	tupesaniw
9個	シネペサンペ	sinepesampe	9人	シネペサニウ	sinepesaniw
10個	ワンペ	wanpe	10人	ワニウ	waniw

目はいくつ？ 足の指はいくつ？

身のまわりにある物の数を数えてみましょう。

兄弟は何人？

身のまわりにいる人の数を数えてみましょう。



7月 海へ行こうよ

かいすいよく かわあそ はまべ あそ ふね の  
海水浴に川遊び。浜辺で遊んだり舟に乗ったり。アイヌ語を声に出しながら、楽しい  
なつ す  
夏を過ごしましょう。

タント シリセセク フマン。  
tanto sirsesek hum an.  
きょう あつ かん あり  
今日 暑い 感じ ある  
「今日は暑いね」

ペツ オレン ラパン ワ マアン。  
pet or en rap=an wa ma=an.  
かわ ところ へ くだ わたし くだ  
川 ところ へ 下る・私たちが て 泳ぐ・私たちが  
かわ い およ  
「川に行って泳ぎましょう」

アトウイ オレン クサン ルスイ。  
atuy or en ku=san rusuy.  
うみ ところ へ わたし くだ  
海 ところ へ 私が・下る したい  
うみ い  
「海に行きたい」

ヤム マッカ クク ルスイ。  
yam wakka ku=ku rusuy.  
つめ むず わたし の  
冷たい 水 私が・飲む したい  
つめ むず の  
「冷たい水が飲みたい」

\*ワッカ「水」は、ヤムのあとでは、マッカという発音にかかります。



おほ 覚えよう～あつ さむさの言葉～

シリセセク	sirsesek	「暑い」
シリポポケ	sirpopke	「暖かい」
シリメマン	sirmeman	「すずしい」
メアン	mean	「寒い」

れんしゅう 練習

タント シリセセク フマン。  
tanto sirsesek hum an.  
きょう あつ かん あり  
今日 暑い 感じ ある  
「今日は暑いね」

「暑い」の部分<sup>あつ</sup>を他の言葉<sup>ぶぶん</sup>に置き換えて<sup>ほか</sup>言ってみよう<sup>ことば</sup>。

れんしゅう 練習

ヤム マッカ ク ヤン。  
yam wakka ku yan.  
つめ むず の  
冷たい 水 飲む なさい  
つめ むず の  
「冷たい水を飲みなさい」

「冷たい水」の部分<sup>つめ むず</sup>を好きな飲み物<sup>ぶぶん</sup>に置き換えて<sup>す</sup>「～を飲みなさい」と言<sup>の</sup>て<sup>もの</sup>みましょう<sup>おきか</sup>。

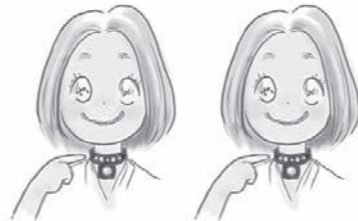


♪うたってみよう(2)～かぞえうた～♪

♪ シネ トウレブ  
sine turep  
1つの ウバユリ



♪ トウ レクトウンペ  
tu rekutunpe  
2つの くびかざり



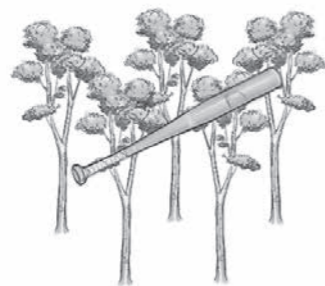
♪ レ イナウル  
re inawru  
3つの けずりかけ



♪ イネ アッケテク  
ine akketek  
4つの ほたて



♪ アシクネ イワニ  
asikne iwani  
5つの アオダモ

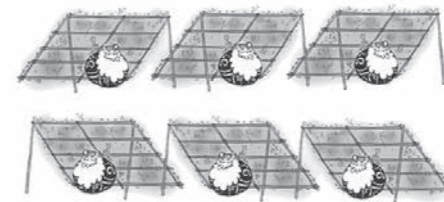


♪ アイヌ イタカニ  
aynu itak ani  
アイヌごで

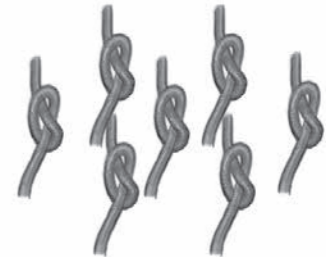
♪ イピシキ キヤナニ  
ipiski ki yan ani  
かずを かぞえてね



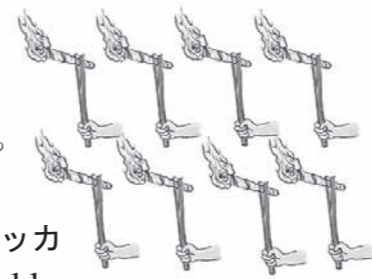
♪ イワン アラカシ  
iwan arkas  
6つの かたごや



♪ アラワン トウペプ  
arwan tupep  
7つの むすびめ



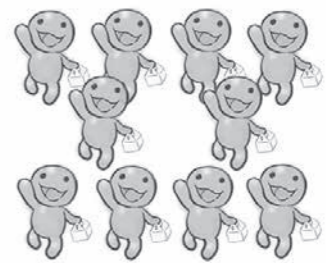
♪ トウペサン スネ  
tupesan sune  
8つの たいまつ



♪ シネペサン ワンパッカ  
sinepesan wampakka  
9つの てぶくろ



♪ ワン シネウエクル  
wan sinewekur  
10にんの おきゃくさん



♪ アイヌ イタカニ  
aynu itak ani  
アイヌごで

♪ シノツチャキアン ロク  
sinotcaki=an rok  
みんなでうたって みよう

\* ひ～とり、ふ～たり、さんにん いるよ、よ～にん、ご～にん、ろくにん いるよ  
で知られている「10人のインディアン」に、アイヌ語をつけてみました。  
\* 歌詞に使われているアイヌ語は、美幌地方の言葉が中心となっています。  
(アイヌ語詞：北原次郎太)



がつ せんぞ たいせつ  
8月 先祖を大切に

いの そな ほん  
お祈りとお供えはいつしてもよいのですが、お盆にあわせておこなうこともよくあります。ご先祖のことをまわりの人に聞いてみましょう。

シンリッ アネオリパク。  
sinrit an=eoripak.  
せんぞ わたし うやま  
先祖 私たちが 敬う  
せんぞ たいせつ うやま  
「先祖を大切に敬う」

オンカムイアン ナ。  
onkamuy=an na.  
はいれい わたし  
拝礼する・私たちが よ  
はいれい  
「拝礼しますよ」

エカシノミ アキ ナ。 フツノミ アキ ナ。  
ekasnomi a=ki na. hutnomi a=ki na.  
だんせい せんぞくよう わたし じょせい せんぞくよう わたし  
男性の先祖供養 私たちが・する よ 女性の先祖供養 私たちが・する よ  
だんせい せんぞくよう じょせい せんぞくよう  
「(男性の)先祖供養をしますよ」 「(女性の)先祖供養をしますよ」

クポン ヒ タ フチ トウイタク キ ワ エンヌレ。  
ku=pon hi ta huci tuytak ki wa en=nure.  
わたし ちい さんぶんせつわ わたし き  
私が・小さい とき に おばあさん 散文説話 する して 私に・聞かせる  
わたし こ ころ  
「私が子どもの頃、おばあちゃんがトウイタクをして私に聞かされました」



おほ  
覚えよう～おじいさんやおばあさん～

エカシ	ekasi	「おじいさん」
フチ	huci	「おばあさん」
アチャ	aca	「おじさん」
ウナラペ	unarpe	「おばさん」



れんしゅう  
練習

クポン ヒ タ フチ トウイタク キ ワ エンヌレ。  
ku=pon hi ta huci tuytak ki wa en=nure.  
わたし ちい さんぶんせつわ わたし き  
私が・小さい とき に おばあさん 散文説話 する して 私に・聞かせる  
わたし こ ころ  
「私が子どもの頃、おばあちゃんがトウイタクをして私に聞かされました」

「トウイタク」の部分ぶぶんを、ほかの言葉ことばに置き換えて言ってみましょう。

「サコロペ」「ウポポ」「イフンケ」

トウイタク tuytak…おもに、人間にんげんが主人公しゅじんこうとなるお話。  
サコロペ sakorpe…おもに、少年しょうねんの英雄えいゆうが主人公しゅじんこうとなるお話。  
歌うたのようにメロディーかたにのせて語る。

ウポポ upopo…短い歌詞みじかを輪唱りんしょうなどで歌う歌。おもに女性じょせいが歌う。  
イフンケ ihunke…子守歌こもりうた。



かいせつ  
解説～ご先祖さまへのお供え～

- 8月がつになるとお墓参りはかまいをする人ひとが大勢おおぜいいますね。お墓参りはかまいをして、亡なくなった人ひとにきれいな
- お花はなや食べ物ものをお供えそなして楽しんでもらいます。
- アイヌの暮らしくらしでは、お墓はかに行かずいに家の近くちかでお供えそなをする方が多おほかったです。お花はな
- ではなく木きで作つくったイナウごへいじょう(御幣状だんごのもの)、お団子だんごやお菓子かしやお酒さけ、たばこたばこ、亡なくなった人ひと
- が好すきだったものをお供えそなします。
- 亡なくなった人ひとたちは、あよの世よで暮らくらしているのひで、火かの神様かみさまに「お供え物そなを届とどけてください」
- とお願ねがいします。それなから、亡なくなった人ひとの名前なまえを言いって、自分じぶんの名前なまえも言いながら「これを
- お供えそなします」といいってお供えそなをします。食けべ物はみんなちぎじって地面じめんにままきます。飲のみ物ものも地
- 面めんにままきます。そうたすると、食けべ物のいいのちが、亡なくなった人ひとのどところに届とどくといいわれています。

がつ  
9月 おいしいものがいっぱい

あき 秋になると、<sup>やま さち</sup>山の幸、<sup>うみ さち</sup>海の幸、おいしいものがいっぱいです。特にサケは大事な食べ物で、<sup>いろいろ りょうり</sup>色々な料理になります。

タネ クイペルスイ。  
tane ku=iperusuy.  
<sup>いま わたし なか</sup>  
今 私が・お腹がすく  
「お腹がすいたよ」

タアン チポロ シト エ ヤン。  
taan cipor sito e yan.  
<sup>この すじこ だんご た</sup>  
この 筋子 団子 食べる なさい  
「この筋子をまぶした団子を食べなさい」

タアン ペ ケラアン フマン。  
taan pe keraan hum an.  
<sup>この もの おいしい かん</sup>  
この もの おいしい 感じ ある  
「これはおいしいね」

カルシ アカラ クス パイエアン ナ。  
karus a=kar kus paye=an na.  
<sup>キノコ わたし と</sup>  
キノコ 私たちが・採る ために 行く・私たちが よ  
「キノコを採りに行きましょう」



おぼえよう～さかなに関する言葉～

カムイチエプ	kamuycep	「サケ」
イチャニウ	icaniw	「マス」
スプン	supun	「ウグイ」
スサム	susam	「シシャモ」



練習

タアン チポロ シト エ ヤン。  
taan cipor sito e yan.  
<sup>この すじこ だんご た</sup>  
この 筋子 団子 食べる なさい  
「この筋子をまぶした団子を食べなさい」

「筋子をまぶした団子」の部分<sup>だんご</sup>を他の食べ物<sup>ほか</sup>に置き換えて「～を食べなさい」と言ってみましょう。

ムニニモ シト muninimo sito 「しばれいもの団子」  
チェプ オハウ cep ohaw 「魚のおつゆ」  
チタタプ citatap 「魚のたたき料理」

練習

カルシ アカラ クス パイエアン ナ。  
karus a=kar kus paye=an na.  
<sup>キノコ わたし と</sup>  
キノコ 私たちが・採る ために 行く・私たちが よ  
「キノコを採りに行きましょう」



「キノコを採る」の部分<sup>と</sup>を他の言葉<sup>ほか</sup>に置き換えて言ってみましょう。

イホクアン ihok=an 「私たちが買<sup>か</sup>い物<sup>もの</sup>をする」  
シニアン sini=an 「私たちが休<sup>やす</sup>む」

# ♪うたってみよう (3)～おびひろのおどりうた～♪

おびひろ たの 帯広には楽しいうたとおどりがたくさん伝わっています。みんなでうたってみましょう。地元の人におそわっておどりもおぼえましょう。

## ○ヘレカンホ○

♪ ヘレカンホ ヘレカンホ イ ヘレカンホ ヘイ チュイ アウ ホイ  
herekanho herekanho i herekanho hey cuy aw hoy



①両手をひだりしたに、左足をすすめる→両手を右上にパン、右足をよせる



②かがんで両手でひざをポンポン→左にとびながら体をひねって両手をひらく



③左足を小さくふみだし両足でピョン→右足を小さくふみだし両足でピョン



## ○パッタキリムセ○

♪ ハエイー ハエイー トカチ エソロ ハエイー ハエイー  
hae i hae i tokaci esoro hae i hae i  
とちがわ そ 十勝川に 浴って

♪ ハ！チコツチャケ タ チコツカパケ チウトモキ！  
ha! ci=kotcake ta ci=kokkapake ci=utomoki!  
わたし まえ 私の前 で 私のひざ わたし う あ 私が・打ち合わせる(?)



①腰をかがめ、肘を曲げて両手を後ろへ、いっしょに片足をかかどから後ろへ  
手と足を前へもどしながら、もどした足を少し前へすすめる(交互に繰り返す)  
②歌が変わったところで膝を屈伸し両手で膝をポンポン

♪ ハエイー ハエイー トカチ エソロ ハエイー ハエイー  
hae i hae i tokaci esoro hae i hae i  
とちがわ そ 十勝川に 浴って

♪ ハ！チオシマケ タ チシットケウエ チウトモキ！  
ha! ci=osmake ta ci=sittokewe ci=utomoki!  
わたし うし 私の後ろ で 私のひざ わたし う あ 私が・打ち合わせる(?)



③歌がもどったら①と同じ動き  
④歌が変わったところで膝を屈伸し、両手を後ろに伸ばしてポンポン



10月 冬が来る前に

秋が深まって日の暮れるのが早くなっても、子どもたちは外で遊ぶのが好き。大人たちが少しずつ始める冬支度。アイヌ語で言ってみましょう。

クミチ サツチェブ ポロンノ ホク。  
 ku=mici satcep poronno hok.  
 私の・お父さん 干し魚 たくさん 買う  
 「父さんは干し魚をたくさん買った」

クハポ カルシ サツケ。  
 ku=hapo karus satke.  
 私の・お母さん キノコ 乾かす  
 「お母さんはキノコを干した」

エソン パイエアン ワ シノッアン。  
 eson paye=an wa sinot=an.  
 外へ 行く・私たちが して遊ぶ・私たちが  
 「外へ行って遊びましょう」

レラ ユパケ クス チセ オツ タ シノッアン。  
 rera yupke kus cise or ta sinot=an.  
 風 激しい ので 家 中で遊ぶ・私たちが  
 「風が強いから、家の中で遊びましょう」

\*オロ「中」は、夕のまえでは、オツという発音にかかります。



覚えよう～天気に関する言葉～

ルヤンペ	ruyanpe	「雨」
レラ	rera	「風」
ウパシ	upas	「雪」
ペソシ	pesos	「みぞれ」



練習

クミチ サツチェブ ポロンノ ホク。  
 ku=mici satcep poronno hok.  
 私の・お父さん 干し魚 たくさん 買う  
 「父さんは干し魚をたくさん買った」

「干し魚」の部分了他の物に置き換えて「父さんは～をたくさん買った」と言ってみましょう。

練習

レラ ユパケ クス チセ オツ タ シノッアン。  
 rera yupke kus cise or ta sinot=an.  
 風 激しい ので 家 中で遊ぶ・私たちが  
 「風が強いから、家の中で遊びましょう」

「風が強い」部分を「雨が降る」「雪が降る」「みぞれが降る」に置き換えて言ってみましょう。

ルヤンペ	ルイ	ruyanpe ruy	「雨が降る」
ウパシ	ルイ	upas ruy	「雪が降る」
ペソシ	ルイ	pesos ruy	「みぞれが降る」



11月 針と糸をもって

てづく のものが身の回りにある、てま じかん をかけてつくったものをわたす、すこ なたたかな気分になります。アイヌ語で言ってみましょう。

クミチ アットウシ ミ。  
ku=mici attus mi.  
わたしのお父さん 樹皮衣 着る  
「お父さんはアットウシを着る」

クハポ ケシペキ コロ アン。  
ku=hapo kespeki kor an.  
わたしのお母さん 裁縫をする ながら いる  
「お母さんは裁縫をしている」

タアン ペ クミ プ エシタパン ネ。  
taan pe ku=mi p estap an ne.  
このもの 私が着るもの こそ ある よ  
「これは私の着物だよ」

クコッサポ カエカ ワ アシケペチ アラカ。  
ku=kossapo kaeka wa askepeci arka.  
わたしのお姉さん 糸よりする て 手の指 痛い  
「姉さんは糸よりをして手の指が痛くなった」



覚えよう～針仕事の言葉～

ケム	kem	「針」
カ	ka	「糸」
ニウト	niwto	「縫い糸」
カタク	katak	「糸玉」

練習

タアン ペ クミ プ エシタパン ネ。  
taan pe ku=mi p estap an ne.  
このもの 私が着るもの こそ ある よ  
「これは私の着物だよ」

「私の着物」の部分のほかに他の言葉に置き換えて「これは～だよ」と言ってみましょう。

コンチ konci 「帽子」  
パスイ pasuy 「はし」  
イタンキ itanki 「おわん」

練習

アシケペチ アラカ。  
askepeci arka.  
手の指 痛い  
「手の指が痛い」

「手の指」の部分のほかに他の言葉に置き換えて「～が痛い」と言ってみましょう。

クパケ ku=pake 「私の頭」  
クイマキ ku=imaki 「私の歯」  
クレクチ ku=rekuci 「私の喉」  
クホニ ku=honi 「私の腹」  
クイッケウエ ku=ikkewe 「私の腰」



♪うたってみよう (4) ~ジングルベル・きよしこの夜~

- ♪ ジングルベル ♪  
♪ ウパシポロ ヌソアオワ  
upas poro nuso a=o wa  
すごいゆきだ ソリにのって
- ♪ パイエアンロ ミナアン カネ  
paye=an ro mina=an kane  
でかけよう わらいながら
- ♪ ヌソエトコタ エトロチャラケ  
nuso etoko ta etor carke  
ソリのまえて すずがちりん
- ♪ アエケウトウムシノチタラ  
a=ekewtumusinocitara  
みんなのきもちもわくわくさ
- ♪ ジングルベルジングルベル トウヌニタラ  
ジングルベルジングルベル tununitara  
ジングルベルジングルベル すずがなる
- ♪ ヌソアエシノツ コロアエキロラン  
nuso a=esinot kor a=ekiroran  
ソリであそぶと めちゃたのし
- ♪ ジングルベルジングルベル トウヌニタラ  
ジングルベルジングルベル tununitara  
ジングルベルジングルベル すずがなる
- ♪ ヌソアエシノツ コロアエキロラン  
nuso a=esinot kor a=ekiroran  
ソリであそぶと めちゃたのし



- ♪ きよしこの夜 ♪  
♪ シオイナ タヌ克蘭  
sioyna tan ukuran  
せいなる このよる
- ♪ キヤイ ノチウ  
kiyay nociw  
かがやく ほし
- ♪ カムイ ポンテイネシ  
kamuy pon teynesi  
かみの おさなごは
- ♪ コロハポ ウアソロ  
kor hapo upsoro  
ははの ふとこるに
- ♪ エモコロキナ アプニタラ  
emokor ki na apunitara  
ねむっている やすらかに

\* クリスマクソングの定番である「ジングルベル」と「きよしこの夜」にアイヌ語をつけてみました。  
\* 歌詞に使われているアイヌ語は、幌別地方の言葉が中心となっています。  
(アイヌ語訳：平成22年度イオル事業・アイヌ文化伝承者育成事業 講師・受講者の皆さん)

がつ きょう さむ  
12月 今日も寒いねえ

寒い日が続きます。風邪をひかないように注意しながら、アイヌ語の勉強を続けま  
しょう。

ウパシ ルイ ナ。

upas ruy na.

ゆき ふ 降る よ

「雪が降ったよ」



クテケ ヤム フマン。 クチキリ カイ ヤム フマン。

ku=teke yam hum an. ku=cikiri kay yam hum an.

わたし て つめ かん あり わたし あし つめ かん あり

私の・手 冷たい 感じ ある 私の・足 も 冷たい 感じ ある

「手が冷たい。足も冷たい」

アペアレ ヤン。

apeare yan.

ひ を つける なさい

「火をつけなさい」

エオムケカラ ヤ?

e=omkekar ya?

あなたが・風邪をひく か

「風邪をひいたの?」



ぬりえ

好きな色をぬってみましょう。アイヌ語の色をあらわす言葉も、あわせておぼえま  
しょう。

コンカニ konkani

「金」

クンネ kunne

「黒 (い)」

フレ hure

「赤 (い)」

シウニン siwnin

「緑 (である)」



シロカニ sirokani

「銀」

レタラ retar

「白 (い)」

シウニン siwnin

「青 (い)」

シウニン siwnin

「黄色 (い)」

1月 お祭りの準備

冬にはお祭りがたくさんあります。男の人の準備、女の人の準備、どんなことをしているのでしょうか。

アシリ パ アン ナ。  
asir pa an na.  
新しい年 ありよ  
「新しい年になりました」

オッカイ ウタラ イナウケ。 メノコ ウタラ トノト カラ。  
okkay utar inawke. menoko utar tonoto kar.  
男性 たち 木幣を削る 女性 たち 酒 作る  
「男の人たちはイナウを削る」 「女の人たちはお酒を仕込む」

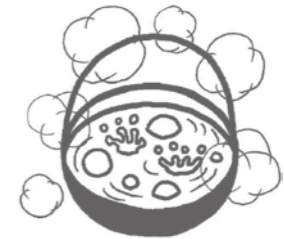
イテッケ ウコイキ ヤン。  
itekke ukoyki yan.  
するな 喧嘩をする なさい  
「喧嘩をしてはいけません」

ポンノ エンカスイ ヤン。  
ponno en=kasuy yan.  
少し 私を・手伝う なさい  
「少し手伝ってちょうだい」



覚えよう～道具や料理の名前～

マキリ	makiri	「小刀」
タシロ	tasiro	「山刀」
トゥキ	tuki	「酒杯」
ラタシケブ	rataskep	「混ぜご飯」
オハウ	ohaw	「おつゆ」



練習

イテッケ ウコイキ ヤン。  
itekke ukoyki yan.  
するな 喧嘩をする なさい  
「喧嘩をしてはいけません」




























「喧嘩をする」の部分<sup>けんか</sup>を他の言葉<sup>ぶぶん</sup>に置き換えて「～してはいけません」と言<sup>い</sup>ってみましょ<sup>う</sup>。

イララ irara 「いたづらをする」  
シノツ sinot 「遊ぶ」  
イオイラ ioyra 「物忘れする」



♪うたってみよう(5)～ からだのうた (しずかなこはん)～♪

①	♪	パケ エトウ シキ チャロ		
		pake etu siki caro		
		あたま はな め くち		
	♪	キサラハ ナヌフ		
		kisaraha nanuhu		
		みみ かお		
	♪	オトピヒ レクチ		
		otopihi rekuci		
		かみのけ のど		
	♪	テケヘ ホニヒ		
		tekehe honihi		
		て おなか		
	♪	コッカパケ パラウレ		
		kokkapake parawre		
		ひざ あし(あしくびからさき)		
	♪	チキリ オソロ		
		cikiri osoro		
		あし(あしぜんぶ) おしり		

②	♪	ヤトウポキ(ニオロポキ※) シットケウエ		
		yatupoki(niorpoki) sittokewe		
		わきのした ひじ		
	♪	アシケペチ アミヒ		
		askepeci amihi		
		ゆび つめ		
	♪	テッコトロ ペンラム		
		tekkotoro penramu		
		てのひら おないた		
	♪	パルンペ イマキ		
		parunpe imaki		
		した は		
	♪	ランヌマ ハンカプイエ		
		rannuma hankapuye		
		まゆげ おへそ		
		イッケウエ セトウル		
		ikkewe seturu		
		こし せなか		

りんしょう ゆうめい こはん もり つか しんたいめいしょう か し うた つく  
 \* 輪唱で有名な「しずかな湖畔の森のかけから」のメロディーを使って、身体名称を歌詞にした歌を作  
 りました。  
 か し つか ご おも とちほうげん つか ちいき ちが  
 \* 歌詞に使われているアイヌ語は、主に十勝方言を使っています。\* 「わきのした」は地域によって違  
 うので、( )の中に本別方言を示しました。  
 からだ ゆび たの うた  
 \* 身体のおちこちを指さしながら、楽しく歌いましょう。  
 (アイヌ語詞：北原次郎太)

がっ かんしゃ  
2月 カムイに感謝をする

アイヌの大きなお祭りのひとつに、イオマンテという行事があります。おおぜいの人が集まって、人間の世界にやって来た動物のたましいを、神さまの世界に送り帰します。

アペウチフチ オレン エカシ オンカムイ。  
apeucihuci or en ekasi onkamuy.

火の女神 ところへ おじいさん 拝礼する

「おじいさんが火の女神へ拝礼する」

クコルポ チロシ エアク。  
ku=korupo ciros eak.

私の・兄さん 花矢 射る

「兄さんが花矢を射る」

ウクラン クモコロ エアイカプ。  
ukuran ku=mokor eaykap.

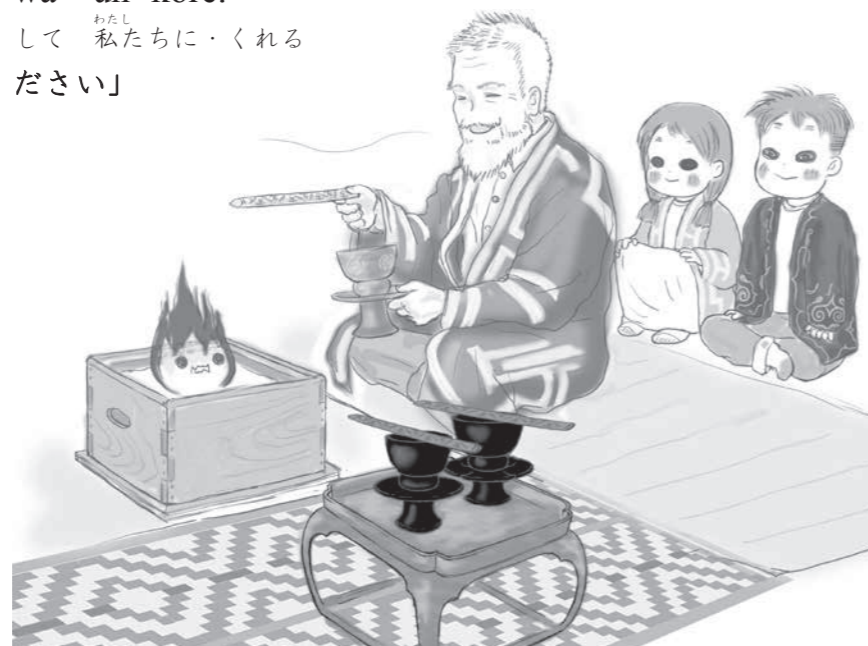
昨夜 私が・眠る できない

「昨日の夜は眠れなかった」

カンナ シネウェ ワ ウンコレ。  
kanna sinewe wa un=kore.

また 訪問する して 私たちに・くれる

「また遊びに来てください」



おほ 覚えよう～お祭りに使う言葉～

ヤイライケ	yayirayke	「感謝する」
ヌサ	nusa	「戸外の祭壇」
ロルンプヤラ	rorunpuyar	「上座の窓」

れんしゅう 練習

クモコロ エアイカプ。  
ku=mokor eaykap.

私が・眠る できない

「私は眠れなかった」

「私が眠る」の部分に他の言葉に置き換えて「私は～できなかつた」と言ってみましょう。

クホプニ ku=hopuni 「私が起きる」

クシノツ ku=sinot 「私が遊ぶ」

クスケ ku=suke 「私が料理する」



かいせつ 解説～神さまを送るお祭り～

アイヌの考えでは、多くの動物は神さまであるとされます。それらの動物は、人間の世界では動物のかつこうをしていますが、神の住む世界では人間と同じように暮らしているのだといひます。

人間は、動物のかつこうをして人間の世界に遊びに来た神さまのたましいを、神の住む世界に送り帰すために、いろいろな儀式をおこなひます。

生まれて間もない子グマを育てて、一定の時期が来たたらそのたましいを送り帰す儀式、祭りを一般的にイオマンテといひます。

火の神をはじめさまさまな神々の力を借りて、子グマのたましいが無事に神の国に戻れるようにお祈りをします。子グマには、たくさんのみやげを持たせて、「神の国でしばらくお休みになったら、また人間の世界に遊びに来てください」とお祈ひします。男の人たちは飾りのついた矢（一般に「花矢」といひます）で子グマを射て、そのまわりを女の人たちが輪になって踊ります。この祭りは、アイヌの儀式の中でも盛大におこなわれるものの一つで、何日もの間、夜遅くまで続きます。

子グマのたましいは、無事に神の世界に戻ったら、たくさんのみやげにかこまれながら、人間のもとをまたいつか訪ねようと思ひます。

3月 子グマを授かる

寒さがゆるんでヒグマが冬眠から目覚める頃に山狩をすると、母グマと一緒に生まれてばかりの子グマを捕獲することがあります。このことは、アイヌの暮らしの中では神さまから子グマの飼育を任されたと受け止められ、たいへん名誉なことだと考えられてきました。

ミチ、 エノン エオマン シツ タパナ？  
 mici, enon e=oman sir tap an a?  
 ちちおや どこへ あなたが・行く ようす 様子こそ ある か  
 「お父さん、どこに行くの？」

\*シツ「様子」は、タパナのまえでは、シツという発音にかかります。

クイラマンテ クス エキムン クオマン。  
 ku=iramante kus ekimun ku=oman.  
 わたし か やま わたし い  
 私が・狩りをする ために 山へ 私が・行く  
 「山に狩りに行くんだ」

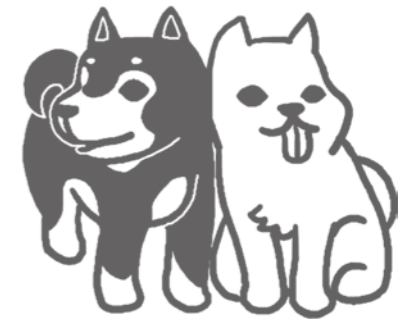
クアニ ウサ クオマン ルスイ。  
 kuani usa ku=oman rusuy.  
 わたし も わたし い したい  
 私 も 私が・行く したい  
 「僕も行ききたいなあ」

ポン エペレ ソンノ ピリカ ル アン。  
 pon eper sonno pirka ru an.  
 小さい 子グマ 本当に よい こと ある  
 「子グマはとてかわい」



覚えよう～「小さな」の言い方～

ポン エペレ	pon eper	「子グマ」
ポシタ	posita	「小犬」
ポン チカフ	pon cikap	「小鳥」
ポン チェフ	pon cep	「小魚」



練習

クアニ ウサ クオマン ルスイ。  
 kuani usa ku=oman rusuy.  
 わたし も わたし い したい  
 私 も 私が・行く したい  
 「僕も行ききたいなあ」

「私が行く」の部分に他の言葉に置き換えて「私も～したい」と言ってみましょう。

ケラアン イペ クエ keraan ipe ku=e 「私がおいしいものを食べる」  
 クシネウエ ku=sinewe 「私が遊びに行く」  
 クシノツ ku=sinot 「私が遊ぶ」



これまで学んできた表現の中に、「ク ku=」と「エ e=」という言葉がいくつも出てきます。「ク ku=」は、日本語で「私が（私の）」、「エ e=」は「君が（君の）」という意味です。

アイヌ語では、「食べる」「飲む」「遊ぶ」など、自分が何かをする場合には、「～する」という意味のアイヌ語の前に、必ず「ク ku=」という言葉をつけます。

例えば、「私は外で遊んだ後にお菓子を食べて、それから水を飲んで寝た」という文をアイヌ語にしようとすると、「遊んだ」、「食べて」、「飲んで」、「寝た」の4つをアイヌ語にしてから、4つ全部に必ず忘れずに「ク ku=」を付けます。これはアイヌ語の大事な決まりごとのひとつです。

詳しいことは『初級編』で、また勉強しましょう。

☆12ヵ月の月のなまえ☆

アイヌ語による月の言い方を紹介します。地域によって言い方に違いがあります。

4月	(静内) (白老) (十勝)	シキウタ キウタチプ	sikiwta kiuta	「キユを掘る月」
5月	(静内) (白老) (十勝)	モマウタ シキウタチプ	momawta mo-kiuta	「小さいキユを掘る月」
6月	(静内) (白老) (十勝)	シマウタ モマウタチユブ	simawta siučičup	「ハマナスの実をとる月」
7月	(静内) (白老) (十勝)	モニヨラク シマウタチユブ	moniyorak mučičup	「木の葉が枯れる月」 「ハマナスの熟する月」
8月	(静内) (白老) (十勝)	シニヨラク モニヨラク	siniyorak sinihorak	「すっかり葉がかれる月」 「木の倒れる月(落葉月)」
9月	(静内) (白老) (十勝)	ハブラブ シニヨラク	haprap yarui	「葉が落ちる」 「網の盛んな月」
10月	(静内) (白老) (十勝)	ウレポク ウレポク	urepok urepok	「鮭漁に出て足の裏に砂がつく」 「足裏の月(霜を踏む月)」
11月	(静内) (白老) (十勝)	スナンチュブ シネアンチブ	sunancup sunaničup	「松明の明りで鮭をとる月」 「松明による川漁の月」
12月	(静内) (白老) (十勝)	クエカイ クイカイ	kuekay turup	「仕掛け弓が凍って折れる」 「？」
1月	(静内) (白老) (十勝)	イノミツブ(トウルブ) チウルブ	inomicup(turup) toetanne	「神に祈る月(急流も凍る月)」 「日が永くなる月」
2月	(静内) (白老) (十勝)	トエタンネ トイタンネ	toetanne haprap	「日が長くなる」 「黒百合塊茎を掘る月」
3月	(静内) (白老) (十勝)	モキウタ ハブラブ	mokiwta huekai	「弓による山狩の月」

\* 静内方言の月名は『平成6年度アイヌ無形民俗文化財記録刊行シリーズⅧ アイヌのくらしと言葉4』(北海道教育委員会, 1995年)の葛野辰次郎さんの言葉から引用しました。ただし、日本語訳は同書の内容を要約してつけたものです。これは旧暦に基づいた月名です。

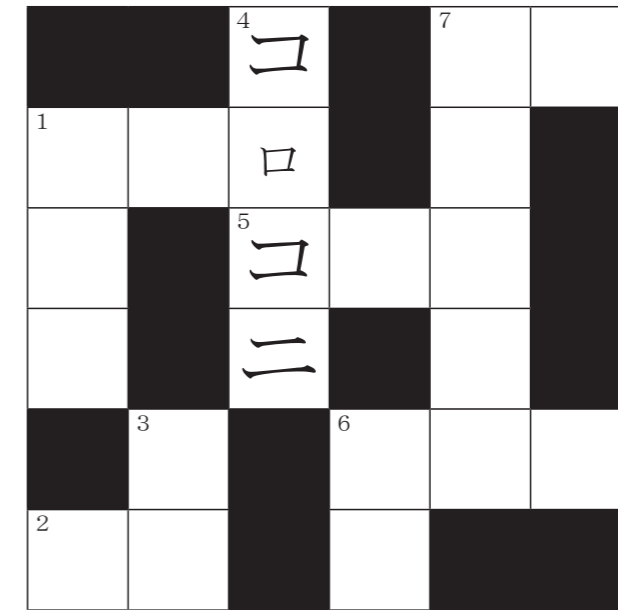
\* 白老方言の月名は、山本祐弘『樺太アイヌ・住居と民具』(相模書房, 1970年)から引用しました。

\* 十勝方言の月名は、吉田巖『杖のみたま』(『民族学研究』19巻3/4号, 1956年)から引用しました。現在とはアイヌ語の表記が違いますが、そのままの形で掲載しています。

千歳のことばでつくったクロスワードパズルを解いてみよう。

☆タテ

- お父さんのお父さんのことはなんて言うかな？
- 〇〇になると雪がふって、とってもさむいんだ。
- 〇〇を持った小人のことをコロポックルっていうんだよ！
- 土の中にある小さくてまるいたべものだよ。
- サケをとったら、冬にそなえてたくさん作っておこう。



★ヨコ

- カゼをひくとグズグズ出ちゃうよ。
- 海へ行って〇〇の上をあるくのは気持ち良いなあー！
- これがないと冬の日の外は頭がさむくて歩けないよ。
- 〇〇がふってきたから、濡れちゃう前にいそいで帰ろう！
- 暑くてたのしい季節！〇〇！



☆☆正解はいちばんうしろのページにあるよ☆☆

■クロスワードの正解 せいかい

	コ		サ	ク
エ	ト	ロ		ッ
カ		コ	ン	チ
シ		ニ		エ
	マ		ア	プ
オ	タ		ハ	

とかちのアイヌご

---

発行年月 2012年3月

発行 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構  
〒060-0001  
北海道札幌市中央区北1条西7丁目プレスト1・7 5階  
TEL (011)271-4171 FAX (011)271-4181  
URL <http://www.frpac.or.jp> E-mail: [ainu@frpac.or.jp](mailto:ainu@frpac.or.jp)

印刷 株式会社美巧製版

---